

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	岡谷発新しい絹文化を未来へ
事業主体 (連絡先)	NPO 法人 シルク文化協会 〒394-0003 長野県岡谷市加茂町 1-7-32 宮坂雄二方
事業区分	(3)教育・文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,348,929 円 (うち支援金: 2,597,000 円)

事業内容

- ・日本絹文化フォーラム 2019 を開催
岡谷カノラ小ホールのはじめは 287 名の参加者があり今年には新たに結城紬のファッションショーを行い盛況であった。
- ・SUWA ブランドの創出と試作
板織り講習会を開講し、板織り作品の試作を行った。
前期縄文織りと板織り初級・上級講座
6月～11月 原村自然文化園会場 15回延べ 150人
後期板織り初級・中級・上級講座
7月～11月 ミーティングルーム他会場 10回 200人
- ・7月からホームページを開設し、活動の紹介、宣伝、ネット販売が行えるようになった。
- ・11月4、5日東京銀座長野2階で板織、縄文織の作品展覧会を行い、普及を図った 来場者約 300人



【東京銀座長野作品展覧会会場】

【目標・ねらい】

- ① フォーラム開催事業の継続
- ② 板織り・縄文織りの技術習得と新しい糸による試作品の充実
- ③ ホームページを開設して絹、文化の魅力を広める

事業効果

- ① 絹文化フォーラムは参加者が 287 人となり、会場から様々な意見や質問が出され、次回に向けた期待感が表れ充実した内容であった。
- ② SUWA ブランドの創出と試作は、織り技術の習得とより高度の技術を学び、新しい糸「銀河シルク」による試作品の完成に手ごたえを感じることができた。
また、銀座 NAGANO の展示会は大盛況であった。
- ③ ホームページを開設し、事業の紹介や板織り作品のネット販売を開始した

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・参加者から様々な要望が出され期待の多いことがわかった。
- ・織りの講習は前期、後期延べ 350 人と当初の目標に達した。
- ・新しい糸による絹特有の色彩と光沢の作品が完成した。
- ・ホームページ開設ができた。

今後の取り組み

絹文化フォーラムを継続して開催していくためには、より大勢の関係者や市民の参加が必要である。やさしい、魅力ある内容の、絹を使う側の人々が参加しやすい内容を工夫して、また様々な分野の絹愛好者の交流の場として発展させていく。また情報を配信・交換できる場、さまざまな活動を進める人の情報発信の場として、ホームページの充実に努力を重ねていきたい。

SUWA ブランドの創出は、伝統技術の上に、斬新なデザインとシルクの持つ特徴的な色彩を生かした作品、新しい糸による特徴的なオンリーワンの作品の完成をめざして、さらに試作を進め、再度、作品発表の機会を作りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)

銀座 NAGANO 展示会 11月4・5日



岡谷シルク魅了

東京・銀座で
衣装展示会
板織り技術PR
文化協会

岡谷シルクの振興に取り組むNPO法人「シルク文化協会」(原田尹文理事長)は5日まで2日間、東京・銀座の銀座NAGANOで「シルク衣装展示会」を開いた。写真、岡谷、茅野から参加した協会員の実演のほか、絹糸を使った「板織り」技術で作ったベストやストールなどを展示し、あでやかな光沢の岡谷シルクの魅力をPRした。

展示会は、かつて岡谷、茅野の各家庭で織られていた「板織り」技術の普及を目指す同協会が、「板織り」の素晴らしさを広めようと開催。「銀座NAGANO」では買い物客にパンフレットを配り、2階の会場に案内した。

2019年度作品(一部) 銀河シルク糸

